

# 三井住友銀行 東館

## 建物諸元(2019年12月現在)

所在	東京都千代田区丸の内 1-3-2
主用途	事務所
敷地面積	5,960.07 m <sup>2</sup>
延床面積	88,549.49 m <sup>2</sup>
階数	地下4階、地上29階、塔屋2階
竣工年月	2015年6月
事業者・所有者	株式会社三井住友銀行
設計会社	株式会社日建設
施工会社	鹿島建設・三井住友建設・熊谷組・鴻池組 JV
管理会社	住商ビルマネージメント株式会社
テナント数	3社(特定テナント1社)

## 主な評価項目

### I 一般管理事項

- ・ビルオーナー、技術管理者他関係者による CO2 削減会議を毎月実施するとともにテナント連絡会を年2回実施。
- ・BEMSデータを利用しエネルギー消費量や機器類の稼働実績を継続的に分析検証するコミッションングを実施。

### II 建物、設備性能に関する事項

- ・エアフローウィンドウ・ダブルスキンによる外皮性能の向上。
- ・高効率熱源+蓄熱、空調機+VAV(ペリメータ回りのデュアル VAV の採用)、IPM モーターの採用。
- ・LED 照明、昼光利用、人感センサーの採用。

### III 運用に関する事項

- ・負荷状況に応じた空調用冷水温度チューニングの実施。
- ・建物全体の省エネ化に最適な熱源機器選定の実施。

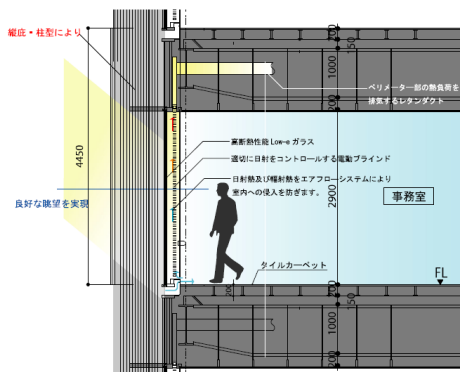
## 事業所の概要

三井住友銀行は 2010 年竣工の本店ビルディングと共に大手町交差点の日比谷通りを挟み、東西 2 棟で本店機能を担う、最高高さ 150m の超高層ビルである。内外装とも本店と同様「伝統・先進性・本物」をコンセプトに、装飾を排した機能と素材を活かすデザインとした。また、地球環境に対する社会的要請に応えるために建物の空調負荷低減化および高効率機器の積極的採用により大幅な省 CO2 化を実現した。

## 事業所における環境負荷低減の取組

### 自然エネルギーの活用

- ・ダブルスキン、エアフローウィンドウの採用により PAL 値は基準に対し約 30%の低減
- ・外気冷房、フリークーリング、ナイトパージ、自然換気
- ・太陽光発電、昼光利用照明システム、



### 負荷低減化

- ・庇、ルーバーによる日射遮蔽、Low-e ガラス、屋上緑化、壁面緑化、日射によるブラインド制御
- ・CO2 濃度による換気制御、予冷余熱時の外気カット

### 高効率化

- ・高効率熱源、温度成層型蓄熱層、IPM 高効率モーター
- ・LED 照明、400V 給電、人感センサー明るさセンサーによる照明制御、高効率変圧器
- ・BEMS 利用による継続的コミッションング

### その他環境への取組み

- ・LEED-CI 「Platinum」、CASBEE 新築「S ランク」、CO2 排出量ゼロの電力メニューの採用等

## 事業所外観写真



## 取組のイメージ図

ビルオーナー、ビル管理者、テナント、コンサル会社が一体となり継続的な環境負荷低減に向けた PDCA サイクルを実施している。

